

心豊かで夢を持ち、郷土を愛する人を育てる



財団 広報

2023 No.30

聴耳草紙ターリー・スポンサーさん

トピックス

- ▶ 遠野文化研究センター講座「謎解き・遠野高校の宮沢賢治像」
- ▶ 遠野少年少女合唱隊発表会
- ▶ 遠野市民センターバレエスタジオ発表会

インフォメーション

- ▶ 遠野物語ファンタジー
- ▶ 遠野市教育文化振興財団顕賞式

財団合併10周年

(一財)遠野市教育文化振興財団合併10年の歩み

(表紙写真)

(一財)遠野市教育文化振興財団は、現在の体制となつてから令和4年度で10周年を迎えました。市民の皆さんをはじめ、たくさんの方々とともに歩んできた10年を大切にしながら、これからも「心豊かで夢をもち、郷土を愛する人を育てる」ことをスローガンに掲げ、事業に取り組んでまいります。

聴耳草紙 INTERNATIONAL とは？
遠野に住む外国人、海外で活躍する遠野人など、
さまざまな方からお話を伺い、遠野と世界との
つながりに心を向ける特集です。



ターリー・スペンサーさん

遠野市の姉妹都市アメリカ・チャタヌーガ市の出身。平成28年に留学生として初来日し、ALTとして再び日本に来たスペンサーさん。令和元年に岩手県二戸市へALTとして着任した後、令和2年に遠野市に移住しました。

12月4日(日)に行われたチャタヌーガ姉妹都市締結5周年記念式典では司会を務めるなど、両市の橋渡し役としても活躍しているスペンサーさんに、遠野での暮らしについて聞きました。

好きなものや趣味、休日の過ごし方は？

食べ物は、梅干しや納豆が苦手ですがそれ以外はほとんどのものが好きで、嫌いなものはあまりありません。遠野のビールとマグロのカマ焼きを楽しんでいます。趣味はドライブなど車に関すること、夏は釣りやキャンプ、冬はスノーボードです。冬の楽しみ方をもっと見つけたいです。

休日は時々ドローンを飛ばして映像を撮りに行きます。季節に関わらず金曜日から土曜日はビールを飲みます。今はコタツにあたりながらゴロゴロする日々も楽しんでいます。

遠野での暮らしについて教えてください。

現在は上閉伊酒造株式会社のビール部門で働いています。覚えることはたくさんありますが、徐々にコツを掴みながら経験を積んでいます。ここで長く働きたいと思っています。

チャタヌーガ市には多国籍なレストランが多くありますが、遠野市にはあまり無いのがちょっと残念です。不便もありますが、皆さんが温かくフレンドリーで、この町の暮らしがとても好きです。市内や近隣地域にはスノーボードやキャンプを楽しめる場所が多くあるところも気に入っています。



私を市民の一員として受け入れてくださりありがとうございます！
将来は自分の手で作ったビールを飲みながら、市民の皆さんの笑顔に会えますように！



▶▶ Topics 令和4年11月～12月

遠野文化研究センター講座「謎解き・遠野高校の宮沢賢治像」

12月10日(土)、あえりあ遠野中ホールで遠野文化研究センター講座「謎解き・遠野高校の宮沢賢治像」が行なわれました。講座では、昭和49年に遠野高校に建立された賢治像の舞台裏をひもときながら、尽力した人々の秘話や、像が賢治本人に似ていない理由、そして詩碑に込められた思いなどが紹介されました。当日は80人以上が参加し、入念に調査された発表に関心深く耳を傾けていました。

第32回遠野少年少女合唱隊発表会



11月23日(水・祝)、第32回遠野少年少女合唱隊発表会をみやもりホールで開催しました。隊員11人は「あしたははれる」など7曲を伸びやかな歌声で披露。県内外で活躍されている男声合唱団Amphis Chorとの合同ステージでは、素晴らしいハーモニーを会場いっぱいに響かせました。

遠野市民センターバレエスタジオ第45回発表会



11月27日(日)、遠野市民センターバレエスタジオ第45回発表会が開催され、5歳から社会人までの生徒27人が日頃の練習の成果を披露しました。今年初めて発表会に参加した生徒は5人。とても楽しかったと声を弾ませていました。

遠野市教育文化振興財団 合併10周年

旧財団法人遠野市教育文化振興財団と旧財団法人遠野国際交流協会の合併による新設法人として平成24年に設立された当財団。合併10周年を記念する式典が、12月4日(日)に執り行われました。



表彰者 前列左より遠野緑峰高校(財団活動サポーター)、馬場克尚氏(元評議員)、細越勉氏(元常務理事)、及川増徳氏(元理事長)。前列右より浅沼愛子氏(元顕賞委員)、馬場光子氏(元評議員)、菅沼隆子氏(元副理事長)、角田幸四郎氏(元理事長)。このほか4人1校を表彰した。

演題 「海とウナギが教えてくれたこと」により、先へ



(上) 式典オープニングセレモニーにて歌声を披露する遠野少年少女合唱隊の子どもたち (右) 青山氏の語る研究エピソードに、会場からは驚きや感嘆の声が上がった

遠野少年少女合唱隊によるオープニングセレモニーで始まった式典では、当財団を長きにわたって支えた元理事長や役員、財団活動サポーターなど計11人・2校を表彰しました。

第二部では、東京大学大気海洋研究所国際・地域連携センター長及び大槌研究拠点教授の青山潤二氏を迎え、記念講演会を行いました。青山氏のウナギ研究のエピソード、震災後に沿岸地域で行われた子どもたちとの活動などのお話に、参加した約100人の来場者は興味深く聴き入りました。

このほか当財団では、10周年記念事業として、記念誌の制作や市民向け講演会の開催、ホームページのリニューアルなどを行っています。市民の皆さんに必要とされる愛される財団であり続けられるよう、役職員一同で努力してまいります。

▲ 合併10周年を迎え、記念誌を発行したほか、財団のホームページを一新。講座やイベント情報の閲覧や申込がより簡単にできるようになりました。市民の皆さんに楽しんでいただけるよう、ゲストを招いての講演会も企画しました

初挑戦のキャストにインタビュー！



遠野高校1年
佐々木 穂音 さん

遠野と演劇が好きなので、ファンタジーへの出演を決めました。今回の公演では、主人公のきつね「松葉」を演じます。多賀神社の道を通りかかる人を脅かし食べ物をもらうという狐なのですが、絵師「染慈」との出会いで変わっていきます。私の中での松葉は、小学校高学年くらいの子供のイメージなので、少し幼い子供になったという意識を持ちながら演じています。松葉が染慈と出会ってから感情の変化は表現が難しく、台本から気持ちを読み取ったり、他のキャストからアドバイスを貰いながら練習しています。上手く表現できるか心配ですが、自分の持っている力を十分発揮し、家族や地域の方々に感謝の気持ちを伝えられるよう、楽しく演じたいと思います。ぜひ見に来てください！

第48回市民の舞台 遠野物語ファンタジー

きつねの絵筆

原案・脚本 萩野 友理恵

遠野市民センター大ホール

公演日

2月18日(土) 午後 6時30分

2月19日(日) 午前 10時30分

午後 2時30分

※開場は各公演の開演1時間前

入場料

一般 1,300円 (当日 1,500円)

高校生以下 600円 (当日 800円)

見に来てける～!



キャスト・スタッフの皆さん

あらすじ

多賀神社に住む悪戯きつねの松葉。人間に悪戯をしては、食べ物をせしめて腹を満たしていた。そんなある日、供養絵額の絵師である染慈が通りかかり、松葉はいつものように悪戯を試みる。化かす松葉に、見破る染慈。化かしているのか、化かされているのか。染慈への悪戯に執念を燃やす松葉、物語は意外な展開へ。

プレイガイド

とびあ、遠野風の丘、めがね橋直売所、遠野市民センター、みやもりホール、各地区センター、(一財)遠野市

教育文化振興財団、チケットぴあ (Pコード 510-232、TEL 0570-02-9999)

主催 遠野物語ファンタジー制作委員会 共催 遠野市、遠野市教育委員会、(一財)遠野市教育文化振興財団

ご寄附ありがとうございます
令和4年12月受付分まで

▼匿名寄附者様 2件

▼尾形美意(貫)様

頂戴した寄附金は、寄附者の意向のとおり活用させていただきます。寄附は、個人・法人問わず随時受付して頂きます。皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

第49回遠野市教育文化振興財団顕賞式 第17回遠野市体育協会栄賞表彰式

教育・文化・スポーツ等の分野で活躍した市民の皆さんの功労をたたえる顕賞式と栄賞表彰式を開催します。
※感染症対策のため、被顕賞者とその保護者および関係者のみで開催します。

令和5年2月11日
(土・祝)
あえりあ遠野交流ホール
10時30分から

新型コロナウイルス感染症の状況により、掲載内容が変更になる場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは
(一財)遠野市教育文化振興財団(☎0198-62-6191)まで
MAIL mail@tono-ecf.or.jp
H P https://www.tono-ecf.or.jp/



Facebook



一財団法人 遠野市教育文化振興財団
〒028-0524 岩手県遠野市南町1番10号
TEL 0198-62-6191 FAX 0198-62-6195



https://www.tono-ecf.or.jp
https://www.facebook.com/tonoecf